



沼津西ロータリークラブ週報



2007～2008年度
第17巻25号
2008年1月12日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
新年会

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第789例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長
明けましておめでとう御座います。今年も皆様方ご健康で実りある一年となることをご祈念申し上げます。正月三が日は、比較的穏やかな日和が続きましたが、経済の面では日本も世界も大荒れの幕開けとなりました。原油市場では1バレル100ドルを突破して益々世界経済の重しになりかねないとしております。東証では大発会の記録となる下げ幅となりまして、今年の先行きに暗い影を落しております。

2年程前から2008年は大荒れになると指摘したストラテジストが居ましたが、まさか正月早々この様な展開をされるとは驚きで御座います。

今年の星回りは「一白水星」（いっばくすいせい）です。ストラテジストが指摘するこの星回りの過去100年を遡ってみますと、たしかに悪い出来事が多いのです。九星気学は、九紫火星から始まり一白水星で終わる9年サイクルで表しております。ストラテジスト曰く、物事にはすべてサイクルがあり、特に景気に循環があることは経済の基本知識であると述べております。下駄を放り投げて、転がった下駄が裏か表かで天気を占うことは、なんの根拠もありませんが、景気のサイクルは底から回復・好況・過熱・底と循環していることは、経験測でも理解出来るところがあります。

また、九星気学とは正反対で干支では「子は繁栄」といって景気の上昇する年と言われております。昭和47年は日本列島改造論で日本経済は活況を呈し、大変な好況に湧きました。その12年前の子年は岩戸景気のさなかで、これまた内閣が打ち出した「高度成長」「所得倍増」で好景気で日本中が湧きました。

唯一低迷したのが前回の平成8年でした。日本版ビックバンを提唱して金融改革に乗り出した年です。しかしあの時、自由化に着手していなかったら、今はもっと悲惨であったかもしれません。昭和59年の内閣で「国鉄分割・民営化」議論がスタートした年ですが、いずれの子年も強いリーダーシップを持った人物が登場しております。

今年は日本経済に影響しそうなイベントがグローバルに展開していきます。原油高騰などの不安材料も山積しています。一個人でどうすることも出来ませんが、世の中の変化の予兆を的確に掴みとることが重要であろうと思う次第です。情報は山の様に開示されております。

1月のプログラム		
790回	18:30	年男の抱負 鼠年会員
1月17日(木)		夜間例会
791回	12:30	クラブ協議会
1月24日(木)		上期活動報告
792回	12:30	会員卓話
1月31日(木)		プログラム委員会
2月のプログラム		
793回	12:30	会員卓話
2月07日(木)		プログラム委員会
794回	12:30	DVD鑑賞「地球村民遠山正瑛」
2月14日(木)		社会奉仕委員会 理事会
795回	18:30	エルム・リージェンシー
2月18日(月)		2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回	12:30	外部卓話 後藤臣彦(甲府シティRC)・国際奉仕委員会
2月28日(木)		

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

出席委員会報告

●ビジター（1/10、ブケ東海にて記帳された方）

1. 稲垣 潤様：沼津北RC
2. 堤 親朗様：沼津北RC

★出席報告（会員総数26名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
789回	25名	17名	-	68.00%
787回	26名	20名	0名	76.92%

●欠席者(8名)

宮口雅仁、西山幸三郎、大村保二、坂部利夫、佐野 稔、杉山 了、杉山壽章、鈴木良則

●スマイル報告

1. 渡辺亀一：新年、明けまして、おめでとう御座います。本年も、よろしく、お願いします。
2. 名古屋良輔：新年、おめでとうございます。今年も、皆様にとって、よき年でありますように！
3. 芹澤貞治：本年も、宜しく。
4. 栗原侑男：明けまして、お目出とうございます。今年も、よろしく、お願いします。
5. 栗原侑男：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
6. 本村文一：今年も、よろしく、お願いします。
7. 久松 但：あけまして、おめでとうございます。本年も、よろしく、お願いします。
8. 宮島賢次：あけまして、おめでとうございます。新年早々、紋付袴に着がえたらバッジを忘れしました。
9. 宮島賢次：妻の誕生日のお祝いありがとうございます。
10. 井上武雄：誕生日のお祝いありがとうございます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

- ①裾野ロータリークラブ
01月18日（金）新年会 於：うないち 19:00～

2. 報告・連絡事項

- ①1月24日のクラブ協議会は上期活動報告を行います。報告書を本日中に、事務局あてに提出してください。

- ②3月2日（日）開催のIMの青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入ください。
- ③下半期の会費納入を1月末までをお願いします。
- ④NPO法人ティンクルの後藤理事長より、前回クリスマス例会のチャリティーオークション売上からの募金に対する、お礼の手紙が届いております。

理事会報告

1. 協議事項

- ①2月プログラム クラブ奉仕委員長 鈴木泰次君
プログラム委員長 土佐通孝君
・プログラム委員会の原案どおりとする。

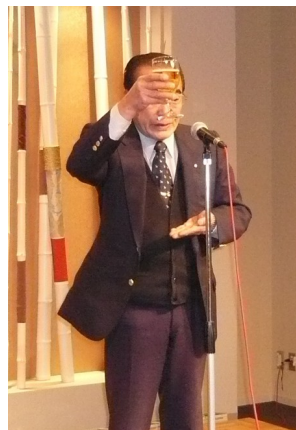
- ②2月の外部卓話に係る謝礼について
国際奉仕委員長 本村文一 君
交通費含め、2万円とする。

- ③森 茂美君より退会届が提出された件
12月31日付退会とする。

- ④坂部利夫君の休会延長の件
6か月延長する。

以上、①～④を一括承認する。

新年会



鈴木博行君の乾杯で始まる



司会は、親睦委員会
本日担当の久松 但君



本人も酔いしれそ
うな何時もながら
の美声を聴かして
くれる鈴木泰次君



皆さん？この往年のプレスリー？ のマネを
している会員？ 誰か分かります？



その歌声に乗ってダンスの腕前を披露する
土佐通孝君と紅一点芹澤和子君



やっぱり、最後は“手に手つないで”会場係り
の方も何時も一緒です。



やっぱりこのダンススタイルが一番？



最後の締め挨拶は
後藤 昭パスト会長

今夜も楽しい新年会でした。会員の結集で今年
も良い年になる事でしょう。（宮島賢次）

-----12月分出席一覧 -----

後藤 (2)	久松 (2,1)	井上 (2)	栗原 (③)	宮島 (③)	宮口 (1)	森 茂 (1)
本村 (2)	名古 (③)	西島 (2)	西山 (1)	大久保 (2)	大村 (2)	坂部 (-)
佐野 (2)	芹澤貞 (③)	芹澤和 (③) +1	杉山了 (③) +1	杉山壽 (-)	鈴木博 (2, 1)	鈴木泰 (③)
鈴木良 (2)	土佐 (2,1)	植松 (③)	渡辺 (③)	吉川 (2)		
			例会出席%	69.23%	地区報告%	73.08%

氏名(ホームクラブ出席数、他クラブ出席数)+超過出席数。丸数字はホームクラブ出席100%を示す。



沼津西ロータリークラブ週報



2007～2008年度
第17巻26号
2008年1月17日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
年男の抱負 鼠年会員

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第790例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長
皆様こんばんは、先週は新年例会で御座いました。全員参加の趣向をこらした新年例会であったと思います。会員の皆様の特色を楽しませて頂きました。企画された親睦委員会の皆様、ありがとう御座いました。

先週は「子の繁栄」した年を遡ってお話をさせて頂きましたが、今日はそのネズミを含めたお話をご紹介します。ネズミは子だくさんと言う事から「繁栄」の意味を持っている訳ですが、ネズミが人類を救うとまで言われる医学の分野では、ラット・マウスは実験動物の主役であることは云うまでもなく、この分野に大きく貢献しています。脳卒中が死因の第一位になった事がありますが、ラットにストレスを与え続けるとそれが起きたり、起きなかつたりして、そこで家系が大切と気づき、今では脳卒中や高血圧の遺伝子の研究が飛躍的に進んでいると言うことで御座います。

昨年の6月20日ブッシュ米大統領は、胚性幹細胞 (ES細胞) の研究を国費で支援する法案に拒否権を発動しました。この発動は2回目になるのですが、細胞を取り出す為に、受精卵を壊すということは生命倫理の観点から認められないとの判断であった訳です。大統領は一方で受精卵を破壊せずに細胞の再生を目指す研究を支持する大統領令を表明しています。

大統領令を受けて6月の初めには、皮膚の細胞から組織を再生する研究が始まりました。すでに

全世界で研究されていた訳ですが、それかれ5ヵ月後の昨年11月21日、京都大学再生医科学研究所の山中教授グループと、米ウィスコンシン大チームが世界で始めて人の皮膚から、さまざまな細胞に成長できる人工幹細胞をつくることに、それぞれ成功したことが発表されました。

山中教授グループは、人の皮膚の細胞を使って神経や心臓・骨など、体の様々な組織に成長できる新型の万能細胞を作ることに成功した訳ですが、ウィスコンシン大では胎児、新生児の細胞でしか成功しておらず、日本のこの成功が世界の注目を集めた訳です。再生医療では、患者本人の細胞を使い角膜の損傷や心臓病など、様々な病気への臨床応用が大学病院を中心に始まっているということです。

1月のプログラム		
791回	12:30	クラブ協議会
1月24日(木)		上期活動報告
792回	12:30	会員卓話
1月31日(木)		プログラム委員会
2月のプログラム		
793回	12:30	会員卓話
2月07日(木)		プログラム委員会
794回	12:30	DVD鑑賞「地球村民遠山正瑛」
2月14日(木)		社会奉仕委員会 理事会
795回	18:30	エルム・リージェンシー
2月18日(月)		2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回	12:30	外部卓話 後藤臣彦(甲府シ 2月28日(木) ティRC)・国際奉仕委員会

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

●ビジター

井口賢明様：沼津北RC

1/17の昼間に、ブケ東海にて記帳された方

小林 俊様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例 会	会員数	出席数	MU	出席率
790 回	25 名	17 名	-	68.00 %
788 回	26 名	17 名	0名	65.38 %

●欠席者(8名)

宮口雅仁、西山幸三郎、坂部利夫、佐野 稔、
鈴木良則、本村文一、吉川直人、土佐通孝、

●スマイル報告

1. 井口賢明様（沼津北RC）：新年おめでとうございます。本年も、よろしく、お願いします。
2. 植松 正：誕生日・結婚記念日のお祝いありがとうございます。
3. 杉山 了：結婚記念日のお祝いありがとうございます。
4. 杉山壽章：やっと、シャバに戻りました。これからも、よろしく。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①沼津柿田川ロータリークラブ

02月11日(月)休会（建国記念日振替）

02月18日(月)沼津西RCとの合同例会18：30点鐘

2. 報告・連絡事項

- ①1月24日のクラブ協議会は上期活動報告を行います。報告書が未提出の方は本日中に、事務局あてに提出してください。
- ②2月18日（月）開催の沼津柿田川RCとの合同例会に関して青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入ください。

鈴木 博行 君



今年は鼠年で、豊作と豊富をもたらす年だと言われております。私の鼠年の人生を振り返り、思い出してみました。

昭和23年（12歳）小学校卒業の年である。6年間、共に学び遊んだ友情は今も消えることなく続いている。出会いは友情の始まりであり、そこで得た好意と信頼は私の人生の励みとなりました。

昭和35年（24歳）私が「ねじ」業界に入った年である。そこで、知り合った方が、当クラブの創設者、森 延敏様である。当時森さんは、36歳で高校の先輩であり、同じく鼠年生でした。私は、森さんとの出会いによって、人生が開けてきました。原町商工会、ロータリークラブ、法人会等森さんの紹介で入会する事が出来、幅広く交友の輪が広がりました。感謝しております。

昭和47年（36歳）私が初めて韓国に旅行した年である。私の小学校時の同級生で、安さんという韓国人の方から、手紙が届き驚きました。小学校3年生（終戦、昭和20年）までは、韓国人の生徒も一緒に勉強しておりました。23年ぶりの再会で、安さんの家庭で杯を傾け合いながら、旧交を温め合いました。当時、安さんは公務員で「扶余・プヨ」の市役所に勤務しておりました。そこで知り得た「儒教」の心の優しさは、私の人生の導きとなりました。

昭和59年（48歳）私が森 延敏さんの紹介で、初めて、沼津北ロータリークラブに入会した年である。ロータリーの奉仕の理想と友情は、私の仕事、家庭、交友の中で幅広く活用され、友情の輪が私の人生に幸を与えてくれました。

平成8年（60歳）沼津西ロータリークラブの第5代会長に就任した年である。「楽しい例会・みんなで奉仕」をクラブテーマに掲げ、奉仕と友情を結束させクラブ運営に邁進して来ました。そこで、私を支援してくれたのが、幹事役の芹澤貞治さんです。芹澤幹事は、私の至らぬ所を補佐し、ク

ラブ内の総意を結集しクラブ運営が出来た事に、敬意を示すと同時に、全会員のご協力に感謝しております。

平成20年（72歳）今年、年男としての抱負は、70余年の人生で積み重ねて来た思いを忘れる事なく、家庭、従業員、学友、ロータリアンの皆様方と好意と友情を保ちつつ、今年の鼠年に合わせ「こつ・こつ」と幸せな1年を過ごしたいと思っております。

そして、沼津西ロータリークラブの皆様方の好意と友情に感謝し「ありがとう・ありがとう」を私の一年の合言葉として頑張ります。



鈴木 泰次 君

いよいよ還暦を迎える年となりました。自分自身では、とても60歳になるとは思えません。とは言うものの肉体の衰えは少しばかり感じるものがあります。加齢による衰えは誰にもあるものと自分に言い聞かせております。

しかし、精神的にはまだまだ七掛けの歳だと思っております。ただ若さを強調すること事態、歳なのかもしれません。

還暦ということで特別の思いはありませんが、肉体と精神を平穏に保ち、少しは世の中のためになることをしながら、自分自身も楽しくなるよう生きていきたいと思っております。

7月より沼津西ロータリークラブの会長を務めることとなりますが、皆様方のご指導、ご支援を頂き任期をまっとうしたいと心より思っております。宜しく願いいたします。

久松 但 君

今年の4月で48歳になります。12年前は独立して5年目で、まだまだ顧問先も少なく監査法人の手伝いで東京と沼津を何度も往復



してました。

24年前は、公認会計士試験合格前で、この試験に受かって仕事に就けるかどうか全くわからなく、家庭教師を続けながら毎日勉強している日々でした。そんな風に考えると、現在では監査・税務等忙しいですが、幸せな毎日かなとも思っています。

今年は7月からクラブの幹事の役割もありますが、ホーム100%出席できるかどうか不安です。昨年就任した教育委員や上場会社の監査の話もあり、なかなかゆっくりできる時間はできそうもありません。

抱負としては、まず、健康に留意し、家庭円満とクラブの幹事を滞りなく務めることでしょうか。忙しい日々とロータリークラブを楽しみながら1年を過ごしていきたいと思っております。



西島 邦彦 君

県東部地区の婚姻届出数は、年間約7,300組、この内の7割、5,100組が結婚式を挙げます。今、ブケ東海沼津のシェアは6%です。今年は1%のシェアアップを達成したいと思っております。

また、平成22年4月にオープンする静岡駅前再開発ビルテナント計画の仕上げをきっちり行いたいと思っております。

プライベートでは昨年11月の人間ドッグで指摘された所見を少しでも改善できる様、健康に留意してまいります。

年男として例年以上に全力ですべての物事に取り組み組んでいきます。ご指導宜しくお願いいたします。

編集後記

最近めっきり寒さを感じるようになりました。冬らしくと言うべきでしょう。近年雪景色を見る機会が珍しくなり、温暖化が気になります。しかし、寒さは好きにはなれませんね、皆さん風邪を引かれぬ様ご用心下さい。

(宮島賢次)



沼津西ロータリークラブ週報



2007～2008年度
第17巻27号
2008年1月24日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
クラブ協議会 上期活動報告

例会場：ブケ東海 (12:30点鐘) 例会日：毎週木曜日 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第791例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、1月はロータリー理解推進月間としてRIで指定しています。云うまでもなく、私たちロータリアンに、ロータリーの知識と理解を一層深めて頂き、そのプログラムを実施する月間です。そうする事で一般社会にロータリー活動の素晴らしさをアピールする月間でもある訳です。

ロータリーは難しくてよく分からないと言うのが、新入会員の異口同音でもあります。すべてを理解して入会してくる人物はいない訳ですから、直ちに理解を求めず、活動を通して一つ一つ求める方が、在籍年数が重なって行くような気がします。今月のロータリーの友にRI会長の記事が載っていますが、曰くロータリーを理解するためには、例会に出席して、そしてクラブの仲間とともに活動をすることが一番良い事であろうと述べています。そしてロータリーを知る上に、ロータリー誌が最も役に立つとしております。

私達のような小クラブでは、1～2年でいずれかの委員長にならざるをいない実情でしたので、割合に活動を通して理解をされていると思います。その立場になりますと勉強もします。また、情報も得られやすくなりますので、早い段階での委員長体験は、小クラブにとって奨励される場所もあると思います。

ロータリー誌が最も役に立つと申されましたが、ここには、色々な考えや記事が載っています。紙

面の向こうは見えないので、理解に苦しむところも御座います。昨年1月に掲載された風紋などは、ロータリーの品位を著しく傷つけた事になります。

感動する記事も御座います。あのマイクロソフトのビル・ゲイツ会長の財団が1億ドルの補助金を条件付で提示され、ポリオ撲滅の最後のチャレンジとして、国際ロータリーに同額の補助金の寄付を求める申し出をされました。ロータリー財団は、今後3年間に同額の資金を調達する為の募金活動を行うとして、ポリオ撲滅予防接種活動を直接支援する為に、先ず1億ドルを投入していくそうです。ロータリアンが積み重ねて来たこの活動が、ゲイツ財団に認められた事に、大いに誇りを持ってると思います。

1月のプログラム		
792回	12:30	会員卓話
1月31日(木)		プログラム委員会
2月のプログラム		
793回	12:30	会員卓話
2月07日(木)		プログラム委員会
794回	12:30	DVD鑑賞「地球村民遠山正瑛」
2月14日(木)		社会奉仕委員会 理事会
795回	18:30	エルム・リージェンシー
2月18日(月)		2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回	12:30	外部卓話 後藤臣彦(甲府シ 2月28日(木) ティRC)・国際奉仕委員会

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

出席委員会報告

●ビジター

1. 伊藤 博様：富士宮RC
2. 加茂哲三様：富士宮RC
3. 渡邊妙子様：三島RC
4. 山本芳久様：沼津RC
5. 星野 篤様：沼津RC
6. 羽野久雄様：沼津北RC
7. 土屋忠男様：沼津北RC
8. 伊東哲夫様：沼津北RC

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
791回	25名	19名	-	76.00%
789回	25名	17名	2名	76.00%

●欠席者(6名)

栗原侑男、西島邦彦、坂部利夫、佐野 稔、杉山壽章、吉川直人、

●スマイル報告

1. 羽野久雄様（沼津北RC）：お世話になります。
2. 伊東哲夫様（沼津北RC）：お世話になります。
3. 富士宮RCIM実行委員会：3月2日のIMに是非お越し下さい。お待ちしております。
4. 鈴木良則：所用につき、早退させていただきます。
5. 鈴木良則：次年度も引き続き地区米山副委員長を拝命されました。切に御協力をお願いします。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①静岡南ロータリークラブ

01月29日（火）夜間例会。メイクアップ11：30～12：30、中島屋八幡ガーデンズの2階ロビー
02月19日（火）休会。メイクアップの受付は行いません。

②裾野ロータリークラブ

02月02日（土）第2分区 IM(東レ研修センター)

③富士宮西ロータリークラブ

02月29日（金）→03月02日（日）IMに振替の為、例会日、例会場変更

2. 報告・連絡事項

- ①富士宮ロータリークラブより、IMテーマ「富士山文化遺産」へ



の取り組み、交流の場に対する参画・参加情報プログラムへの、情報提供の要請が来ております。

- ②2月18日（月）開催の沼津柿田川RCとの合同例会に関して青表紙を各テーブルに置きますので、ご記入下さい。

3. 特記事項

- ①RI第2620地区より鈴木博行君に、地区職業奉仕委員会委員長の委嘱状が届きました。



- ②RI第2620地区より鈴木良則君に、米山運営委員会副委員長の委嘱状が届きました。

クラブ協議会（上期活動報告）

幹事 植松 正 君

本日のクラブ協議会は、各委員長より上期の活動実績について報告があり、質疑応答の後、最後に会長の所見を述べて頂きました。

先月の下期活動計画の発表時と同様、全般的には各委員会とも年次計画に沿って堅調に活動がなされている旨の報告でありました。

個々の委員会では、クラブ奉仕委員会から来期からCLP導入が決定した事、社会奉仕委員会から例年の千本浜遊歩道に加え帯笑園の清掃を行った事等が発表されております。

ただ、会員増強・選考・職業分類委員会の報告にありましたとおり、残念ながら会員数が年間10%増の計画に対し、現状1名減となっております。今後より充実したクラブ活動とするうえでも、会員増強は不可欠と考えます。皆様のご協力宜しくお願い致します。





沼津西ロータリークラブ週報



2007 ～2008年度
第 17 卷 28 号
2008年1月31日

ロータリーは分かちあいの心

● クラブテーマ ●
心、豊かに活動奉仕

■■ 本日のプログラム ■■
会員卓話 土佐通孝君

例会場：ブケ東海 例会日：毎週木曜日
(12:30点鐘) 第三木曜日：18:30
事務局●TEL&FAX 055-967-2152
事務担当者●川口恵美
Eメール●numawestrc@ny.thn.ne.jp

◆◆第 792 例会 会長挨拶◆◆

渡辺 亀一会長

皆様こんにちは、毎年この冬の時期は、インフルエンザの流行が心配されますが、2005年東南アジアで猛威を振るった鳥インフルエンザが、変異を起こすことに世界的な危機感が高まっていると言われております。

先週、タイで行われました鳥インフルエンザ国際会議で、欧米やアジアの研究者から相次ぎ、ヒトからヒトへの感染発生を警戒。鳥から他種への感染を繰り返しているウイルスが変異し、感染経路が拡大する事態が現実味を増していることが、明らかになったと報告されております。各国では切迫した問題ととらえていますが、日本ではインフルエンザ研究の権威者も欠席し危機感が薄いと見られています。

過去に世界的大流行したインフルエンザは、20世紀に4回発生しています。1918年にスペイン風邪、1957年アジア風邪、1968年香港風邪、1977年ソ連風邪、であります。この中で特に猛威を振るったスペイン風邪は、全世界で6000万人の死者を出したと言われております。日本では死者が39万人に及んだと記録に御座います。

これらの新型インフルエンザパンデミックの原因となったウイルスは、いずれも「弱毒性」鳥インフルエンザウイルスであることが、これまでの研究で明らかになっております。現在問題視されているウイルスは、「強毒性」鳥インフルエンザウイルスと言われております。

鶏などの養鶏に感染したときの致死率は100%です。人に感染した場合にも60%以上の方々が亡くなっています。ウイルスは生き残る為に変異を繰り返すと言われます。鳥インフルエンザとは、A型インフルエンザが鳥類に感染して起きる鳥類の感染症であります。すでに東南アジアでは沢山の人が、鳥からの感染が確認されております。そして、ヒトからヒトへ感染する新型インフルエンザウイルスに突然変異して生まれる可能性は今後、非常に高いといわれています。

現在開発されている鳥インフルエンザ用のワクチンが、有効との保証はありません。新型ウイルスから新たにワクチンを製造するには、3ヶ月から半年或いは1年とも言われます。私たちは、その来るべき脅威を認識し、適切な準備をしておく必要があるかと思う訳で御座います。

2月のプログラム		
793回	12:30	会員卓話
2月07日(木)		プログラム委員会
794回	12:30	DVD鑑賞「地球村民遠山正瑛」
2月14日(木)		社会奉仕委員会 理事会
795回	18:30	エルム・リージェンシー
2月18日(月)		2クラブ合同例会 沼津柿田川RC 親睦委員会 曜日・場所変更・夜間
796回	12:30	外部卓話 後藤臣彦様(甲府 シティRC)・国際奉仕委員会
2月28日(木)		

●ビジター

1. 脇龍太郎様：東京池袋RC
2. 山本倫弘様：沼津北RC

会 長	渡辺亀一	幹 事	植松 正
会報委員長	宮島賢次	編 集 者	宮島賢次

出席委員会報告

★出席報告（会員総数25名）

例会	会員数	出席数	MU	出席率
791回	25名	18名	-	72.00%
789回	25名	17名	2名	76.00%

●欠席者(7名)

栗原侑男、西山幸三郎、大久保豊和、坂部利夫、
芹澤貞治、杉山壽章、鈴木良則

●スマイル報告

1. 西島邦彦：誕生日のお祝いありがとうございます。

幹事報告

1. 他クラブの例会変更等

①長泉ロータリークラブ

02月02日（土）移動例会 静岡第2分区IM
東レ総合研修センター

②伊豆中央ロータリークラブ

02月05日（火）→02日（土） 静岡第2分区IM

③三島ロータリークラブ

02月06日（水）→02日（土） 静岡第2分区IM

④沼津北ロータリークラブ

02月12日（火）裁量休会

2. 報告・連絡事項

①ガバナーエレクト、牧田静二様より、エアメールが届きました。国際協議会にて2008～2009年度のRI会長テーマ「夢をかたちに（Make Dream Real）」が発表されました。

②2月のロータリーレートは1ドル=108円（前月比▲4円）です。

会員卓話

土佐 通孝 君

自社の創業80周年に思う

今回、卓話の機会を頂き、感謝申し上げます。

何をお話させて頂くか、いくつか考えましたが、昨年、私達の会社は創業80年を迎えました。自動車産業の歴史に自分の「来し方」を照し合わせてお聞き頂くこととしました。ただ、自動車屋の歴史だけお聞き頂いても、面白くないと思いますので、時代背景を添付しました。ご自分の歴史を頭に入れつつ、お聞きください。

・まず、最近の自動車の国内販売の状況を、説明させて頂く。

- ・67/1～12、販売台数は、登録車343万台、軽自動車192万台、合計535万台。
- ・登録車の過去のピーク台数は、1990年の597万台（254万台減少）このレベルは、自動車メーカーが1つ消えてしまった状況（自動車販売連合会）とわれています。メーカーは、海外販売が好調で業績は順調。
- ・国内販売会社は、生き残りをかけ、会社が拠点の統廃合、人員の見直し、管理体制の見直し、ETC.をスピードを上げて実行しつつあります。
- ・軽自動車のここ数年は、194万台前後の高いレベルの販売台数になると見込まれています。いくつかのフォロー要因がその背景です。
- ・80周年を機会に、いろいろの行事を実施しました。記念誌の作成もその一つです。記念誌の10年単位の年次別の「出来事」をコピーしました。私自信、自動車会社に入社40年になります。当社の創業80周年の半分だけ、この業界に関わってきた事になります。自分の「生い立ち」と、時代背景を、織り交ぜつつ80年の歴史を早足で、辿ってみます。

<昭和2年～昭和29年迄>

- ・1927年(S2年)1月創業、杉山サイクル商会設立（ダイハツ小型三輪トラックの販売修理）
- ・1948年(S23年)4月、法人組織に改め、(有)杉山サイクル商会とする。（小生は、当時4歳）
- <昭和30年～昭和39年代>以降、10年を区切りにより主要な出来事につき、自分史や時代背景を交えつつ説明させて頂いた。（配布資料ご参照）
- ・今、軽自動車業界は、少しばかり、フォローの風に恵まれ、業界各社からは、今年も、いろいろな、優れた新商品が開発されると聞いています。軽自動車は、現在の販売レベルは、維持するでしょう。
- ・私達は、お客様から、車という商品を買って頂いていますが、実のところは、人が会社を買って頂いていると考えています。しかし、今の当社の実力では、買って頂いて、ご満足頂いているレベルにあるとは言えません。
- ・お客様へのご対応につき、批判や不評不満、ご叱咤を頂くことが多々あります。
- ・お客様から、評価頂くに値する人作り、会社作りが、急務と認識しています。
- ・一方では、社員の人達が明るく元気で楽しい会社生活を送っているのかどうか、会社に対してどんな感じを持っているのか、社外の人達（コンサルタント会社）の協力を頂き、社員満足度の調査を実施しています。
- ・社員満足度が不十分では、お客様満足度を上げることは、出来ません。
- ・お客様を含めた第三者のご意見、アドバイスに素直に耳を傾け、信頼されるに値する人作り、会社作りをめざします。
- ・今後ともご指導の程、宜しくお願い申し上げます。